

市民の意見 30の会・東京 会計報告
2013年1～12月

1. 損益計算書 (会基本会計)		
収入の部		支出の部
一般会費	1,619,500	印刷費(*2) 1,566,753
協会会費	590,000	発送費(*3) 925,180
敬老会費	2,092,800	通信費 103,616
障害者会費	32,000	消耗品費(*4) 333,772
(会費小計)	4,334,300	編集経費 200,180
カンパ	1,458,100	交通費 323,410
市民の意見販売	8,800	家賃 720,490
グッズ等販売	14,980	光熱費 50,285
受取利息(*1)	849	手数料 7,410
		諸会費(*5) 118,000
		事務用品費(*6) 194,834
		雑費 66,858
収入計	5,817,029	支出計 4,610,788
		今年度損益 1,206,241
前年度繰越	6,049,443	今年度残高 7,255,684
2. 貸借対照表 (次年度への繰越金)		
資産の部		負債の部
現金	90,721	預かり金(*8) 222,000
預貯金	8,286,515	F/I基金 1,165,820
立替金(*7)	170,983	条約基金 176,715
敷金	272,000	会基本会計 7,255,684
合計	8,820,219	合計 8,820,219

注 (*1) ゆうちょ銀行他普通預金受取利息。(*2) 『市民の意見』136号～141号印刷費。(*3) 『市民の意見』135号～140号発送費他。(*4) 角2封筒、振替用紙、発送用ラベル、トナー、コピー用紙代等。(*5) 各意見広告への賛同金及び運動へのカンパ。(*6) ノートパソコン2台、プリンター1台他周辺機器。(*7) 事務所家賃および光熱水費、電話料金など意見広告への立替金の繰越額です。次期会計にて(*8) 預かり金(うち賛同金¥219,500)と相殺いたします。

1年前この欄で「この国のありように、私も怖くなりました」と書きましたが、安倍首相率いる自公政権はナリフリ構わずやりたいたい放題昨年未だ目を覆いたくなるようなやりきれない気持ちで年越しを迎えました。でもね、そんなことしたらますますやりたいたい放題のさばるので、やっぱりシッカと目を見開き、耳を澄まし、口を大きくあけ、ひととき大きな声で「ダメなものだダメメー」と言い続けなければと気を取り直しているところです。

さて、2014年度最初は恒例の前年度の総額を掲載します。収入面では、13期の「意見広告」が好評だったこともあり報告書送付後の7

8月に新規入会者が殺到し、大幅な会費増収になりました。事務局では、うれしい悲鳴に大わらわで作業したことを思い出します。支出の方を見ますと、パソコンの劣化に伴いノートパソコン2台とその周辺機器の買い替えをしました。そのため事務用品費は増加しましたが、それ以外の通常支出は全体的に減少しましたので、余裕の黒字で繰り越すことができました。

まあ、とにかくにも沖繩県民じゃあないけれど「屈しない」の心でやって行きたいと思えます。

今年もどうぞ宜しくお願い致します。(上口)

前号(141号) 記事の訂正

以下の通り訂正してお詫び申し上げます。

* 「市民意見広告運動」講演&ライブ

5ページ2段目後ろから5行目(誤) 山田太郎(正) 山本太郎

* 「ドイツと日本の原発問題を考える」

15ページ3段7行目(誤) 3年半(正) 2年半

年

* まつだたえこさんからの便り

23ページ3段目後ろから9行目(誤)

1946年(正) 1964年

▼ 表紙絵の作者 ▲



原田 新

(はらだ・あらた)

1919(大正8)年3月16日、山口県徳山市に8人兄弟姉妹の長男として生まれる。県立徳山中学校在学中に肺浸潤を患い2年休学するが、1937(昭和12)年4月、東京美術学校(現、東京藝術大学)油画科入学、1941(昭和16)年12月繰り上げ卒業。1942(昭和17)年12月末、西部第四部隊より海南派遣第五一六九部隊に入営し、1943(昭和18)年8月7日、ニューギョーリア島近海において戦死。享年24。